

大気汚染防止法に係る水銀排出施設の変更届出について

1 届出に必要な書類

- (1) 水銀排出施設設置~~（使用・変更）~~届出書（様式第3の6）
- (2) 水銀排出施設の構造（別紙1）
- (3) 水銀排出施設の使用の方法（別紙2）
- (4) 水銀等の処理の方法（別紙3）
- (5) 工場・事業場周辺の地図（縮尺のあるものが望ましい）
- (6) 工場・事業場の敷地内の建物等の配置図
- (7) 届出施設の設置場所を記載した工場・事業場の平面図
- (8) 届出施設の構造等概要図（カタログ等でも可）
- (9) 煙突等の概要図（煙道図・測定口の位置）
- (10) 処理施設の構造概要図（カタログ等でも可）
- (11) 水銀等の排出及び処理に係る操業系統の概要
- (12) 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法
- (13) 原材料の分析表（水銀含有量等）
- (14) 排出ガス中の水銀濃度の設計値が分かるもの又は測定データ
- (15) その他必要な（県が指示する）書類
- (16) 委任状（届出者に代表権がない場合は必ず必要）

※（1）～（12）については必ず必要。ただし、（5）～（12）のうち変更のないものは、先に提出した書類の提出日、書類名、変更がないことを明示することで省略可。

※届出書の作成にあたっては、変更前及び変更後の内容を対照させること。

2 提出方法

- (1) 提出先 水銀排出施設を設置している地域を所管する保健所衛生環境課
（新宮保健所串本支所は保健環境課）
- (2) 提出部数 4部（うち1部は届出者控え）

※和歌山県では、環境関連法令の届出等について、市町村（和歌山市を除く）に情報提供していますので、ご理解、ご協力願います。

3 ご注意点

水銀排出施設の構造若しくは使用方法、又は水銀等の処理の方法を変更する際は、届出が受理された日から60日を経過した後でなければ、その変更は実施（着手）出来ません。（実施の制限）

ただし、実施制限期間の短縮について通知を受ければ実施（着手）可能日より変更が出来ます。

なお、届出が受理された日は、各保健所が受付を行った日となります。

4 お問い合わせ先

環境生活部 環境政策局 環境管理課 環境保全班
TEL (073)441-2683 FAX (073)441-2689

若しくは、各保健所衛生環境課（新宮保健所串本支所は保健環境課）

※こちらに記載の内容は和歌山市以外の和歌山県内の届出についてのものです。和歌山市内の届出については和歌山市環境政策課にお問い合わせ下さい。

様式第 3 の 6

水銀排出施設設置（使用、変更）届出書

今回届出をする日付 → 令和〇〇 年〇〇月〇〇日
を記入してください。

和歌山県知事 様

法人の場合、登記した本店
住所、商号、代表者を記載
してください。

→ 届出者

和歌山県和歌山市〇〇1丁目1番1号

株式会社〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

大気汚染防止法第 18 条の 28 第 1 項（第 18 条の 29 第 1 項、第 18 条の 30 第 1 項）の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇〇△△工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇郡〇〇町△△1111-11	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種類	「5 項 銅の二次精錬の用に供する溶解炉 1 基」 「8 項 廃棄物焼却炉 2 基」 など	←施行規則別表第 3 の 3 に掲げる項番号及び名称、基数を記載してください。	
水銀排出施設の構造	別紙 1 のとおり。		
水銀排出施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。		
水銀等の処理の方法	別紙 3 のとおり。		
参考事項			

- 備考 1 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第 3 の 3 に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。
- 5 参考事項の欄に、施行規則様式第 1 による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が別紙 1 ～ 3 の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙 1 ～ 3 の全部又は一部を省略することができる。

水銀排出施設の構造

届出日から 60 日以後の
日付であること。

工場又は事業場における 施設番号		No. 1 (変更前)	No. 1 (変更後)
名称及び型式		廃棄物焼却炉 〇〇社製 aaa-1234	廃棄物焼却炉 〇〇社製 aaa-1234
設置年月日		年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日 実際に施設設置に着手した日を記載してください。
着手予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日 今回の変更に着手する予定の日付を記載してください。
使用開始予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日 今回の変更後使用開始する予定の日付を記載してください。
規模	伝熱面積 (m ²)		該当する規模の欄に記載してください。
	燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口 面断面積 (m ²)	火格子面積 5.5 変更なし→	「火格子面積 5.5」「同左」 「変更なし」など
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	焼却能力 (kg/h)	250 変更あり→	「260」など

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第 3 の 3 の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、参考様式の欄に、施行規則様式第 1 による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

別紙 1 ～ 3 の各欄について
同様に記載してください。

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における 施設番号			No. 1（変更前）		No. 1（変更後）	
使用状況	1日の使用時間 及び月使用日数等		10時～16時 6時間/回 1回/日 15日/月		10時～16時 6時間/回 1回/日 15日/月	
	季節変動		12月～2月のみ使用		通年（変動なし）	
原材料 （水銀等 の排出に 影響のあるものに 限る。）	種類		廃プラスチック, 廃油, 木くず, 汚泥		廃プラスチック, 廃油, 木くず	
	使用割合		廃プラ: 廃油: 木くず: 汚泥 = 3 : 3 : 1 : 3		廃プラ: 廃油: 木くず = 3 : 3 : 1	
	原材料中の水銀等 含有割合		廃プラ : 〇〇mg/kg 廃油 : 〇〇mg/kg 木くず : 〇〇mg/kg 汚泥 : 〇〇～〇〇mg/kg		廃プラ : 〇〇mg/kg 廃油 : 〇〇mg/kg 木くず : 〇〇mg/kg	
	1日の使用量		1, 250kg		1, 250kg	
燃料 （水銀等 の排出に 影響のあるものに 限る。）	種類					
	燃料中の水銀等の 含有割合					
	通常の使用量					
	混焼割合					
排出ガス量 （m ³ /h）		湿り	最大 44, 000	最大 38, 000	最大 44, 000	最大 38, 000
		乾き	最大 35, 000	最大 29, 000	最大 35, 000	最大 29, 000
排出ガス中の酸素濃度（％）			11. 5		11. 5	
水銀濃度 （μg/m ³ ）		全水銀	1. 6		0. 86	
		ガス状水銀	1. 5		0. 75	
		粒子状水銀	0. 11		0. 11	
参考事項						

- 備考 1 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとすること。
- 2 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
- 3 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 4 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出抑制のために採っている方法等を記載すること。

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号			処理施設－１（変更前）		処理施設－１（変更後）			
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号			No. 1		No. 1			
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式			ろ過式集じん機 〇〇社製 ABCD-123		ろ過式集じん機 〇〇社製 EFG-45678			
設置年月日			年 月 日		年 月 日			
着手予定年月日			令和〇〇年〇〇月〇〇日		令和△△年△△月△△日			
使用開始予定年月日			令和〇〇年〇〇月〇〇日		令和△△年△△月△△日			
処理能力	排出ガス量 (m^3/h)	湿り	最大 44,000 通常 38,000		最大 44,000 通常 38,000			
		乾き	最大 35,000 通常 29,000		最大 35,000 通常 29,000			
	排出ガス温度 ($^{\circ}\text{C}$)	処理前	300		300			
		処理後	100		100			
	排出ガス中の酸素濃度(%)		11.5		11.5			
	水銀濃度 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	全水銀	処理前	17		17		
			処理後	1.6		0.86		
		ガス状水銀	処理前	15		15		
			処理後	1.5		0.75		
			粒子状水銀	処理前	2.2		2.2	
				処理後	0.11		0.11	
	捕集効率 (%)	全水銀	91		95			
ガス状水銀		90		95				
粒子状水銀		95		95				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		10時～16時 6時間/回 1回/日 15日/月		10時～16時 6時間/回 1回/日 15日/月			
	季節変動		12月～2月のみ使用		通年（変動なし）			

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 4 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 5 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつて、道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。